

有事に備える

津波避難訓練

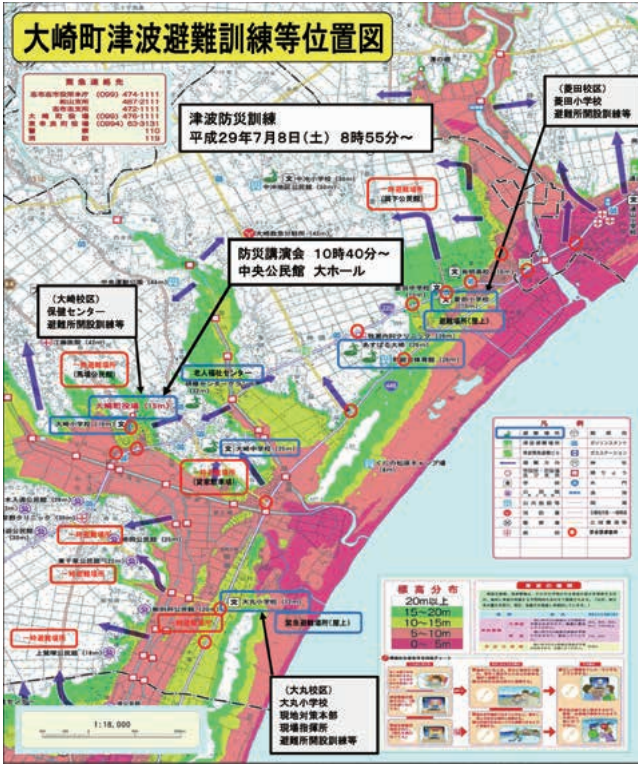
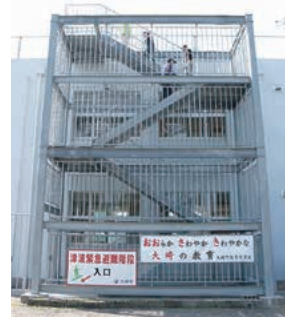
5月12日(土)、平成30年度大崎町津波避難訓練が実施されました。

これは、南海トラフ大地震による大規模災害を想定した大崎町地域防災計画に基づく避難経路、避難場所の確認並びに要配慮者の避難対策等の検証・確認を行うとともに、

各関係機関の活動及び連携を図り、町民の防災意識の高揚と知識の向上を目的として実施されました。

当日の参加者数は約640人で、学校では、大丸小学校と菱田小学校が津波避難訓練に参加しました。

訓練内容は、左記訓練想定に基づき町内志布志湾沿岸沿いの地域を中心に行われ、避難者は、町消防団員の誘導のもと自治公民館ごとに決められた避難場所へと向かい、安全確認や避難経路の検証等を行いました。



【訓練想定】

5月12日(土)、午前8時55分頃、南海トラフを震源とする地震が発生し、町では震度6弱を観測、鹿児島県東部に気象庁から大津波警報が発表された。

町では直ちに「避難指示(緊急)」を発令し、防災行政無線で避難を呼びかけ、災害対策本部の設置、関係機関への要請を行った。避難対象区域では、公民館長、事業所長、学校長等を中心に避難を実施する。



訓練風景

